

海洋資源・産業ラウンドテーブル
2020 年度事業計画
(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

本年度の活動については、引き続き、設立の趣旨である「幅広い視点からの知見にもとづく多角的な検討に基づいた取り組み」を行うことを基本とし、海洋産業界と鉱業界ならびに周辺業界との間の交流を一層深める。

昨年度は、諸外国および国際海底機構の活動が活発化していった。たとえば、中国では 10 月に国際海底機構と 5 つ目の探査契約を締結し、また共同訓練・研究センター設立のための覚書も締結しており、積極的に国際社会への働きかけを行ってきた。また、諸外国の企業は国際的な研究機関や他社と連携し、海洋環境に配慮した技術開発を進めている。

国内では、第 2 期 SIP「革新的深海資源調査技術」での技術開発が進められる一方で、JOGMEC から海底熱水鉱床に関する取組につき、これまでの 10 年を振り返り、資源量調査、採鉱・揚降技術、選鉱・製錬技術、環境影響評価の各分野において着実に進展している状況が報告され、2014 年に国際海底機構と探査鉱区を締結したコバルトリッチクラストについて、有望海域を選定し、2021 年末には鉱区の絞り込みを行う予定であることが発表された。さらに、2017 年より開始された海底探査の国際競技「Shell Ocean Discovery XPRIZE」にて、JAMSTEC を中心とした日本チームの「KUROSHIO」は準優勝を果たした。

当 RT では、創立 10 周年を迎えたことから、記念事業として『10 年史』を作成し、記念のパーティを開催した。『10 年史』では、創立当初の関係者から寄稿文を提供していただいただけでなく、「海底鉱物資源開発の歩み」を作成した。また、2020 年 1 月には、国際海底機構と探査契約を結んでいるベルギーの GSR 社の関係者を迎えて特別研究会を開催する等、昨年度は活発に事業を展開した。

今年度も、全体会合、特別研究会、見学会等の開催、および情報受発信事業を通じて、国内外の最新技術や政策動向について、会員の情報共有を図り、我が国の深海底資源の発展に資する有益な交流の場の提供に努めるとともに、国際会議等への調査員派遣や人材育成・研修事業にも取り組み、引き続き事業活動の充実を図る。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響などの社会的状況を踏まえ、会議や見学会等の開催方法について十分に配慮する形で実施していく。

1. 理事会、総会、幹事会の開催

理事会を 1 回以上、総会を 1 回、幹事会を必要に応じた回数、開催する。

2. 全体会合等の開催

全体会合を複数回開催する。その他、適宜、特別研究会等を開催し、海底鉱物資源開発を牽引する国内外の団体等について学び、交流する機会を設ける。

3. 人材育成・研修事業の実施

昨年度に続き、深海底鉱物資源の利活用促進に資する人材を育成することを目的に、一般財団法人国際資源開発研修センター（JMEC）との共催により「海底鉱物資源開発

基礎講座」を開催する。新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ、年度内の開催を予定。

(参考) 昨年度の研修内容 (受講者: 15 名)

- ・座学: 2019 年 10 月 7 日 (月) ~9 日 (水)
JMEC 会議室 (東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 4 階)
- ・見学: 10 月 10 日 (木) 東邦亜鉛(株)安中製錬所 (群馬県)、
古河機械金属(株)足尾事業所 (栃木県)
10 月 11 日 (金) JAMSTEC 横須賀本部、
東大臨海実験所周辺の地層質見学ツアー (神奈川県)

4. 見学会等の実施

海底鉱物資源の開発の参考になると考えられる、船舶、研究施設・設備、鉱山関係等を対象に、例年同様、数回の見学会を実施する。

5. 情報受発信事業の実施

会員限定の情報・資料の提供・共有、さらに外部機関の関連情報の収集、および会員内外への情報発信等の充実・強化に取り組む。

- ・ 活動内容の記録や調査研究成果等の報告書 (ラウンドテーブル・レポート等)、有用資料等の発行・配布
- ・ 会員保有技術の情報共有・提供
- ・ ホームページ/会員専用ページのリニューアルおよび更新・充実
- ・ 「RT メールニュース」の配信 (年度内 12 回程度)
- ・ その他、関連する情報受発信活動

6. 海洋資源の開発および関連産業の振興に関する調査・研究等の実施

多角的な立場・視点から情報および意見交換、さらに必要な調査・研究活動を精力的に行い、一層の充実を図る。

- ・ 海外における海底鉱物資源開発に関連する法整備、各種技術動向、環境保全対策等の把握
- ・ 海外における海底鉱物資源関連の学会、国際会議等への調査員派遣、情報収集
下記の例のほか、適宜、調査員等の派遣による情報収集を行う。

例: UMC-2020: 49th Underwater Minerals Conference

(米国・フロリダ州セントピーターズバーグにて

9 月 27 日~10 月 2 日開催)

Asia-Pacific Deep Sea Mining Summit

(シンガポールにて 12 月開催予定)

- ・ 上記を含む海外における海底鉱物資源関連の学会、国際会議等への RT 会員の積極的な参加を促すために、参加登録費等の支援制度の継続
- ・ 国際機関等による有用資料やその他資料の翻訳・編集・出版・配布

例: ISA が現在策定している「深海底における鉱物資源の開発に関する規則の草案」 “Draft regulations on exploitation of mineral resources in

the Area”の翻訳

- ・ その他、会員の意向に基づく有用情報のとりまとめ

7. その他、RTの目的を達成するために必要な事業の実施

その他本会の趣旨に沿って、その他の事業活動に取り組む。

- ・ 事業活動に関する会員の意向調査（アンケート）の実施
- ・ 調査研究委託事業等の事業拡大 等

8. 予算方針

昨年度に引き続き、本年度も事業活動の一層の充実に努めることから、単年度収入を上回る支出を計上する予算計画とし、収支の差額は繰越金によって充当する。

以上